

114
A 4408



佛國訴訟法ボアースル口述

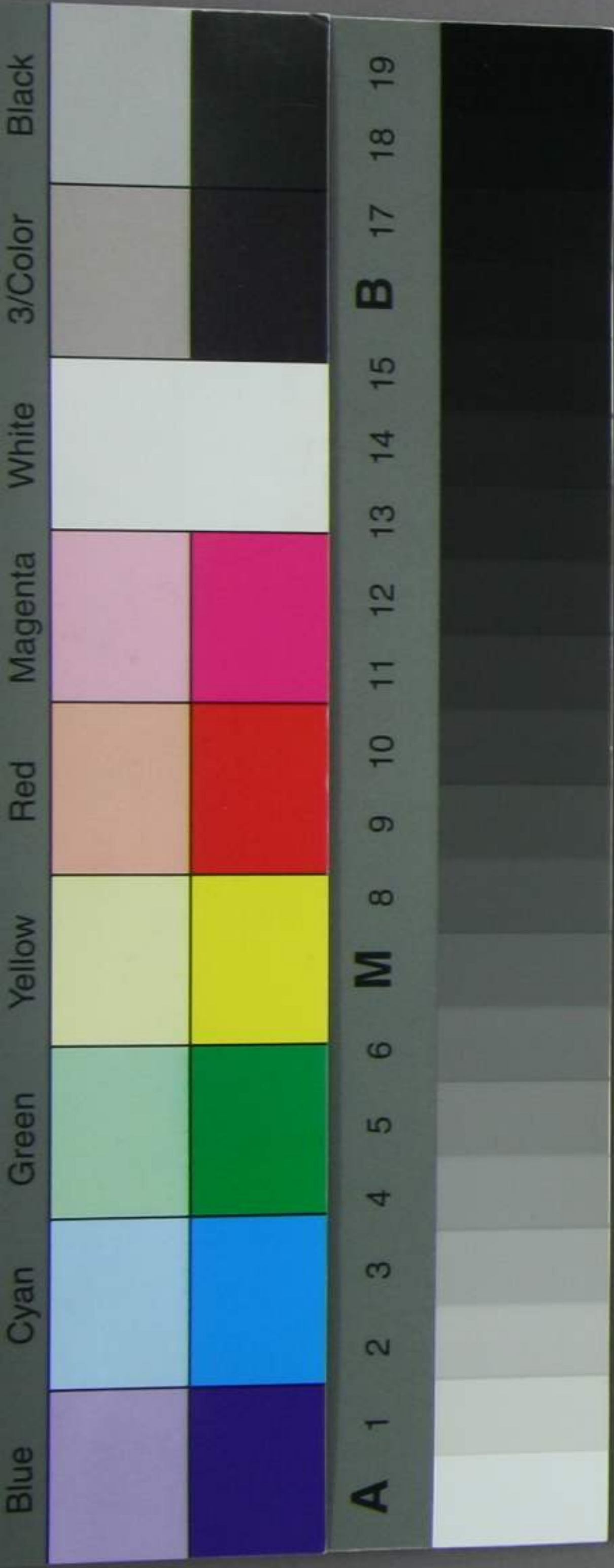
第十九條

以前各人民ヲ呼出ス一ヲ解ク此條以下ハ
全ク別ナク第一項ヨリ第六項マテハ無形ノ
人ト見做スモノナリ

第一項 官府ヲ其土地ノ一ニ管シタル訴訟ニ
付呼出ス氏ハ其訴訟ヲ審判スヘキ裁判所
所在ノ地ノ州長又ハ其住所ニ呼出状ヲ送
達スヘシ

一官ニハ必ラス所有物アリソノ事ニ付テノ

大正
五
年
閏
五
月
四
日
贈



訴訟ハ一般ノ法ニ循ヒ民事裁判ニ歸ス

一官ノ所有物ニ於テ不動産ナレハ物件所在ノ地ノ裁判所ニテ處分ス

右ノ場合ニ於テ官府原告ニテ人権ナルハ被告ノ所在ノ裁判所ニテ訴フルナリ
若シ官府人権ノ一ニ付被告人トナルハ何レノ裁判所ニテ訴フヘシト法律上ニ云ハスト
虽氏呼出状ヲ何レノ所ニ送達スヘシト法律ニ之レアリ

一此項ニ云フ如ク官ノ所有物ニ付テノ訴訟

ハ州長又ハ州長ノ住所ニ送達スルトアリ
原来官府ノ所有スル山林田地等ニ必ラス管理者アリ故ニ此管理者ニテ其訴訟ヲ引受クヘキカ如シト虽氏州長ハ一州ノ總代ニシテ其地ノ支配権アリ且管理者ヨリモ聰明ナル故ヲ防クニ委シキ故州長ヲ呼出スナリ

一譬ヘハ神奈川縣中ニ製鐵場アリ鑛山アリ
工部省ニ屬スルモノト虽氏工部省ハ總テ製鐵ニテモ鑛山ニテモ其業ヲ盛大ニスル

責アルモノニシテ其土地ハ即チ政府ノモ
ノナレハ大藏省ノ管轄ナリ因テ其土地ノ
一ニ付訴訟起ル所ハ工部省ヲ呼出サスシ
テ縣令前文ノ州長ニ當ルヲ呼出スナリ其
時ハ縣令ハ政府ノ名代人トナルナリ何故
ニ州長ヲ政府名代トナスヤト云ハ、大藏
卿ハ全国ノ地ヲ管スルトナレ氏一人ニテ
自身一々之レニ志接スルト能ハサルユヘ
其地ノ情態ヲ熟知スル州長ヲ以テ名代人
トナスナリ

一 譬へハ神奈川ニアル鑛山ニテ人民ノ所有
地へ侵入シタル所ハ鑛山寮出張ノ官吏ヲ
呼出スヘキカ如シ然ルニ縣令ヲ呼出ス不
相當ニ見ユレ氏否ラス尤氏事ニヨリ鑛山
寮ノ官吏自ラ其規則ヲ犯シタル所ハ直ニ
寮ノ官吏ヲ呼出ストアレ氏鑛業ニテ人民
ノ所有物ニ候ニ侵入セシ所ハ必ラス縣令
ヲ呼出スナリ元ヨリ寮ノ官吏ハ土地ノ一
ニ付テハ其訴ヲ防クノ權ナクシテ縣令ハ
土地所有ノ名代ナレハナリ

縣令ハ政府ノ代トハ云フモ分另スレハ即チ大藏卿ノ代人トナル訳ナリ

一 若シ官ニテ人民ノ私地ヲ取込ムモ其害ヲ受タルモノヨリ訴出テ民事裁判トナル又官ノ山林等ヲ買ヒタルニ間違アリ又ハ其土地家屋賃借ノ一ニ付テノ訴ハ民事裁判

第二項 官ハ無形ノ人ニテ其所有物アリテ被告人ニナルヲ説キタリ行政ノ事件ニ関シタルヲニアラス即チ官ヲ一人ト見做シ

民事ノ裁判トナル

官ノ所有ニカ、ルモノハ民事裁判

一 右ハ人權ニ関スルヲテ譬ハ會計官吏ニテ人民ヨリ金ヲ借ルヲアリ右ニ付訴訟起ルトキハ人民相互ノ訴訟ト同一ニ歸スル故ソノ會計局ニ呼出状ヲ送達スルナリ借金ハ官ノ借用ニ相違ナケルモ官ノ公權ヲ以テ借りタルニ非ス畢竟會計局ノ私借ナリ故ニ民事裁判トナルソノモトハ大藏卿ヲ呼出スルナレモソノ名代ニ會計局ヲ呼

出スナリ

一 喩へハ金ヲバンクへ預ル如ク人民ヨリ官署へ預ケルコトアリ尤モ利金モアルナリ此等ノ事ニ付訴訟トナルハ人民ヨリ官署ヲ相手取ルコトアリ

又政府ニ関スル新聞紙又ハ公証人等ハ保証金ヲ出シ置クニ其業ヲ罷メルハ其金ヲ政府ヨリ返スヘキニ執之ヲ返サ、ルハハ訴トナルナリ

其時ニハ政府ハ政府ナレトモ金ノ預リ人

ト云フモノナリ故ニ一般人民ノ訴訟ト同シク民事裁判所ニ訴フハ政府ニテ公ケノ権ヲ以テ取扱フタル金ニ於テハ民事裁判ノ権外タリ

一 喩へハ官吏ノ私ノ疎忽ニテ出仕セサル等ノ事ニテ月給ヲ引クトキ其官吏ヨリ苦情ヲ訴フルモノハ民事裁判ノ権ニアラス且チ行政裁判ノ権ニアリ

又官府ニテ人民ヨリ金ヲ借ルトキハ官府ノ権ニテ借ルニアラス官府ニテ人民トナ

リテ人民ヨリ借ル理ナリ即チ国債等之レ
ナリ

又陸軍ニテ軍器ヲ注文スルニ其軍器ニ付
テノ訴訟ハ行政裁判ノ權ナリ其節ハ注文
シタル省ノ卿自ラ其器械師ヲ呼ビ出シ
且ツ自ラ裁判スルナリ國債ニ付争ノ起リ
タルトキハ即チ此本項ニ入ルナリ
尤モ右ノ場合ニ於テ争ノ起ル一ハ絶テナ
シ近年ノ戦ニ国債証卷ヲ失ヒタルモ沢山
アリ其時ニ更ニ証卷ヲ受取ル一ヲ會計官

ヘ乞フモアリソノ節右ヲ取調ヘテ渡スヘ
キニ之レヲ拒ム氏之レヲ訴フ如キハ即チ
民事裁判ニ入ル

喩ヘハ陸軍卿ヨリ軍器ヲ注文シタルニ其
器械遅延シテ未タ出来サル内ニ最軍モ果
タリ因テ其事ニ後レタルヲ以テ軍器ノ價
ヲ引ケト云フトキニ争ノ起ルモノハ私事
ニアラス公權ナリ故ニ行政裁判トナル
右ノ如ク軍器ノ粗悪又ハ出軍ノ跡等ニテ
其價ヲ渡サル所訴ノ起リタルトキハ民

事裁判官ニテ其争ヲ審理スルハ理ナシ即チ陸軍卿ニテ裁判ス

人民ノ為メニ軍ヲ起スハ政府職務上ノ公權ナルニ其用ヲ勤ムルモノ其事ニ怠リ或ハ其物ヲ粗悪ニスルハ之レカ為メ不都合ヲ生スルニ至リ政府人民ニ對シ其義務ヲ欠ク道理ナリ

一 国債ヲナスニ於テ其人民ヲシテ損害ヲ受ケサラシメント欲スルカ為メニ政府ノ權ヲ以テセス一般人民トナリテ借ルナリ

佛ニテモ行政之事ニ付テハ自カラ注文シテ其争ヲ起シ自カラ之レヲ裁判スルハ不都合トノ論アリ故ニ政府外ニ別ニ行政裁判所ヲ置キ通常裁判官ノ如ク不抜ノ權ヲ與ヘタル裁判官ヲ設ケント云フ説アル氏未タ行ハレス

一 本項ニ基ツキテ説ク
官府ニテ金ヲ借ルニ人民一般ノ如クスルハ少シク不相当ナルカ如キモノナレトモ否ラス喩ヘハ間々ニ陸軍省ノ注文ヲ受ケ

タル軍器ヲ同省へ納メ陸軍卿ノ檢印アル
マシタリヲ以テ金ヲ受取ラントスルニ會
計官吏ニテ金ナシト云テ渡サ、ルトキハ
如何スヘキ即チ右ノ注文品ハ既ニ檢査済
ニテ納マリタル器械ノ美惡ト出来ノ遲速
トハ行政裁判ナリ

既ニ其品ヲ受取ルニ金ヲ渡サ、ル片ニ至
ツテハ民事裁判ナリ

此條ニ於テ法律上ニ付議論スヘキ事アレ
氏佛ニテ此條ヲ存スル間ハ其立置ク所ノ

理ヲ辨明セサルヘカラス

一又一ツノ大切ノ例アリ日本ニテモ國債ア
リ佛ニテモ大國債アリ此等ハ人民一般ノ
金ヲ借ルト同一ナリ此等ハ政府ト虽モ另
ヲ立テス一般ノ人民ト看做シ其訴ハ民事
裁判トナル

以上皆民事裁判ニナルモノヲ云フ

第三項 若シ官ニテ人民ノ私地ヲ取込ム時ハ
其害ヲ受タルモノヨリ訴出民事裁判トナ
ル

又官ノ山林等ヲ買ヒタルニ間違アリ又ハ
其土地家屋賃借ノ事ニ付テハ訴ハ民事裁
判

官署又ハ公舎ヲ訴訟ニ付呼出スルハ其本
局ニ呼出状ヲ送達シ其他ニ於テハ其委員
又ハ其官署ニ送達スヘシ

一官署又ハ公舎トハ公ケノ建造物ヲ云フ病
院狂院又ハ養育院質屋等ノ如キ官ヨリ監
察ヲナスモノナリ諸省等ノ如キハ此中ニ
ハ入ラス

右ハ全ク人民ヨリ酬金ニテ出タルモノナ
レ氏政府ヨリ監察ヲナスエハ公ケノ建造
物ト云フ 寺ハ邑ノ持エハ此内ニ入ラス

其建物ハ私有物ナレ氏其支配ヲナスモノ
ハ官ヨリ命スルナリ此公ノ字妥ナラス
其附属ノ官負ノ月給ハ此建物ノ揚り高ヨ
リ出ツ

此建物ヲ建ルニモ閉ルニモ政府ノ允許ナ
カルヘカラス尤モ地方官ニテ允許ス此會
計モ官ニテ検査スルナリ

此本局ハ首府ニアリ支局ハ州ニアリ其時
ハ本局ハ本局ノ地支局ハ支局ノ地ノ裁判
所ニ呼出スナリ

一 以下行政ニ出ル分ヲ云ハン

政府ト人民ト関係ノトキ政府ノ権ヲ以テ
裁判セサル可カラサル一ハ行政裁判ニ帰
ス

諭ヘハ租税ノ事ニ付其出スヘキ高ハ立法
官ニテ法律ヲ以テ定ムレトモ其各人民ニ
取立ル一ハ各地方ノ行政ニテ之ヲ為ス一

ナリ

第四項 又一ツノ大切ノ例アリ日本ニテモ國
債アリ此等ハ人民一般ノ金ヲ借ルト同一
ナリ此等ハ政府ト臣民別ヲ立テス一般ノ
人民ト看做シ其訴ハ民事裁判トナル
以上皆民事裁判ニナルモノヲ云フ
以下行政ニ出ル分ヲ云ハン

皇帝ヲ其私領ノ一ニ付呼出ス片ハ裁判ニ
管轄地内ニ在ル檢事ニ其呼出狀ヲ送達ス

ヘシ

一 佛ニテハ長ク王ニテ後皇帝トナリ今ハ大
統領トナリタリ大統領ニ對シテハ此條ハ
用ヒス

右ヨリ云傳ヘニモ王ニ對シ訴訟ヲナス
ヲ得スト故ニ檢事ヲ呼出スナリ此訴訟法
タツルトキハ檢事ヲ王ノ名代ト立テタリ
故ニ此ノ如シ其後八百三十二年ニ至リ全
ク王ノ所有物ヲ管轄スル官吏出來タリ民
目録官吏 原來檢事ヲ王ノ名代ト云フハ間
違ヒナリ一般人民ノ名代ナリ

故ニ千八百三十二年ノ時ニ至リ民事目録

官吏「アトシニスタラト」ルヲリストシビル
王ノ各付ヲ以テ其所有物ヲ支配スル
官吏ノ呼出シ其後千八百五十二年ニ至テ
モ同シ決シテ王ヲ呼ヒ出スナシ

千八百四十八年千八百七十二年トモ大統
領ニ對シテノ法律ハ另ニ設ケサリシ

一 毎年翌年ノ不動産税ハ何程ト定ム喻ヘハ
其高百万トスレハ之ヲ八十六列ニ課シ一
列ニテ何程ト定ム
尤モ及ニ貧富大小アレハ其相当ヲ以テ割

合ヲ定ム及亦之レヲ郡アルコトニシテニ割付又之レヲ邑コトニシテ
ニ割付ケ一邑ノ高ヲ定ムソレヨリ邑會議
院之レヲ一人々々ニ割付ルナリ其人々々ニ
割付ルニ付テハ其者所持ノ土地廣狹產物
宅地空地等ノ表ニヨリ検査シ其税ヲ課ス
ルナリ右表ハ行政官ニテ製ス其表ニハ不
適当ノ事アリテ余分ニ税ヲ掛フナアル氏
之ヲ訴フル如キハ即チ行政裁判ニ歸スル
ナリ

日本ニテ云ハハ

天皇陛下其高ヲ定ムルヨリ其各人ニ割付
ルニ至ルマテ行政上ニテ取極ムルナレ
ハナリ

此等ノナリ若シ民事裁判ニテ取揚ル片ハ
「エンプリ」トナル権限ノ争

第五項 政府ト人民ト關係ノ時政府ノ権ヲ以
テ裁判セサル可カラサルナリ行政裁判ニ
歸ス
喩ヘハ租税ノナリニ付其出スヘキ高ハ立法
官ニテ法律ヲ以テ定ムレ氏其各人民ニ取

立ル一ハ各地方ノ行政ニテ之ヲ為スヘシ
邑ヲ呼出ス時ハ邑長又ハ其住所ニ呼出状
ヲ送達シ巴勤ニ於テハ州長又ハ其住所ニ
之ヲ送達スヘシ

一 邑ノ一ヲ説ク前ニ先ツ説ク一アリ千八百
六年訴訟法ヲ編成スルマテハ州ハ只土地
ノ分界マテニテ州ヲ無形ノ人ト見做ス一
ハ之レナシ故ニ州ノ一ハ此法律ニ載セサ
リシ今日ニ至リテハ州ヲ無形ノ人ト見做
ス一ニナリタリ故ニ州長ヲ呼出ス一トナ

リタリ

州長ハ州ノ名代人ナリ又政府ノ名代人ナ
リ故ニ人民又ハ他州ヨリ此州ヲ相手取ル
トキハ州長ハ州ノ名代人トナル又州ヨリ
政府ヲ相手取ルトキハ州長一人ニテ州ト
政府トノ名代人トナル一能ハス故ニ州長
ハ政府ノ名代トナリ州ノ名代人ハ州會議
院中ヨリ撰ニ出ス
右ノ名代人ヲ撰マサル間ハ州會議院ノ長
之レヲ為ス

邑ニ所有物アリ右ニ付訴アル片ハ邑長ニ
テ邑ノ名代人トナル

邑ヨリ列ヲ相手取ルトキハ州長ハ州ノ名
代人トナリ邑長ハ邑ノ名代人トナルナリ
州ヨリ邑ヲ相手取ルトキモ亦同シ尤此
例ニアラサルモノアリ「巴里」ヨリ「是」ナリ
巴里ハ二十「アル」ロシ「チ」スマン「アリ」一「アル」
ロシ「チ」スマン「毎」ニ長アリ右ノ如ク邑長數
人アリテ其長ハ一府ノ名代人トナルヲ
得ス故ニ州長ヲ相手取ルナリ「ヨ」シ「モ」巴

里ト均シキユヘ及長ヲ相手取ルナリ

右ニ付テ少シク面倒ナル「ア」リ若シ州ヨ
リ巴里府ヲ相手取ルトキ州長一人ニテ列
ト巴里府トノ名代人トナル「ア」出来サルナ

但シ巴里ノ規則ハ人民ヨリ巴里ヲ相手取
ルトキハ州長之レニ代ル

其時ハ権カアル方ニ依リ州ノ名代人トナ
リ邑ノ方ハ邑會議院ヨリ名代人ヲ撰ラム
ナリ千八百四十八年マテハ巴里ノ州長ヲ

稱シテ「ノールサンダラー」中心長之議ト云フ

今ハ否ラス

其所以ハ列長ハ巴里ノ邑會議院ニ上席セ

ス另ニ其上席人ヲ撰ムトニナリタリ故ニ

其名ナシ

巴里ヲ此ノ如ク區分スルハ一人ノ「區長」

ニテ廣キ首府ヲ總轄スレハ人民ノ不便利

ヲ生スル故ナリ喻ヘハ婚姻死去ノ届等ヲ

ナスニ遠隔ノ地マテ往來セサルヘカラサ

ルヲ以テ不便利ナレハナリ

一三世「ナホレオン」千八百五十二年ニ大統領

トナル氏前主「オーリアン」家ノ財産ヲ取揚

ケント布告シタリ此「オーリアン」家ノ財産

ハ佛國ノ物ナリ然ルニ其「オーリアン」家ノ

子孫ヨリ右ノ事ヲ布告直シニ為シテモラ

ヒ度旨民事裁判ニ訴ヘタリ之レヲ民事裁

判ニ取揚ケタルヲ以テ巴里ノ列長ヨリ故

障申立タルユヘ民事裁判ニテ之ヲ拒ムト

キハ権限ノ争トナルニ付キ之レヲ行政裁

判ニ歸シタリ然ルニ右ノ訴訟ハ布告ノ通

東洋文庫蔵

リト裁判ニナリタリ「オーリアン」家ノ訴ハ
効ナシトナレリ

一 昨年「ナホレオン」三世ノ甥ナルモノ佛ニ帰
ラントスレテ警視廳ノ手ニ留メタルニ付
人民ノ權利ヲ妨ケタリトテ警視廳ニ對シ
民事裁判取ヘテ訴ヘタリ此時ニハ民事裁判
ニテ取揚クレハ権限ノ第アルト見タル故
此訴ヘテ断リタリ其トキノ言ニ一政覽レ
テ一政府立ツ片ハ新政府ノ為メ人民ヲ保
護セサルヘカラスト云フ

一 諭ヘハ教育ノ官アリ不抜ノ官ナラサレハ
場合ニヨリ免職セラル、^トアリ其場合ニ
ヨラスシテ免職セラル、時ハ何故ニ免職
セララル、ヤト訴フル^トアリ此訴訟ハ行政
裁判ニ訴フ

諭ヘハ文部卿ハ自分^{教師}ヲ免職スルノ權アリ
然レトモ自分ニハ故障ヲ訴フルノ權アリ
自分教師奉職中休暇ヲ得テ日本ニ来リ居
ルニ佛ノ文部省ニテ免職スル^トハ自分ヨ

リ必ス之ヲ行政裁判ニ訴フルナリ

一 右権限ノ大主意大改ニツニ分カル官ノ公
権上ニ就テノ訴訟ハ行政裁判ナリ

官ノ私権上ニ就テノ訴訟ハ民事裁判ナリ

